

# 持続可能な未来をつくろう! ジオパーク×SDGs

## SDGs(エスディージーズ)とは

「持続可能な開発目標(Sustainable Development Goals)」です。

2015年9月に国連総会で採択された文書「持続可能な開発のための2030

アジェンダ：我々の世界を変革する」の中核をなす世界共通の目標です。

「誰一人取り残さない(No one will be left behind)」理念を掲げ、

地球上の弱い立場の人々にも焦点を当てています。



## 17のゴール

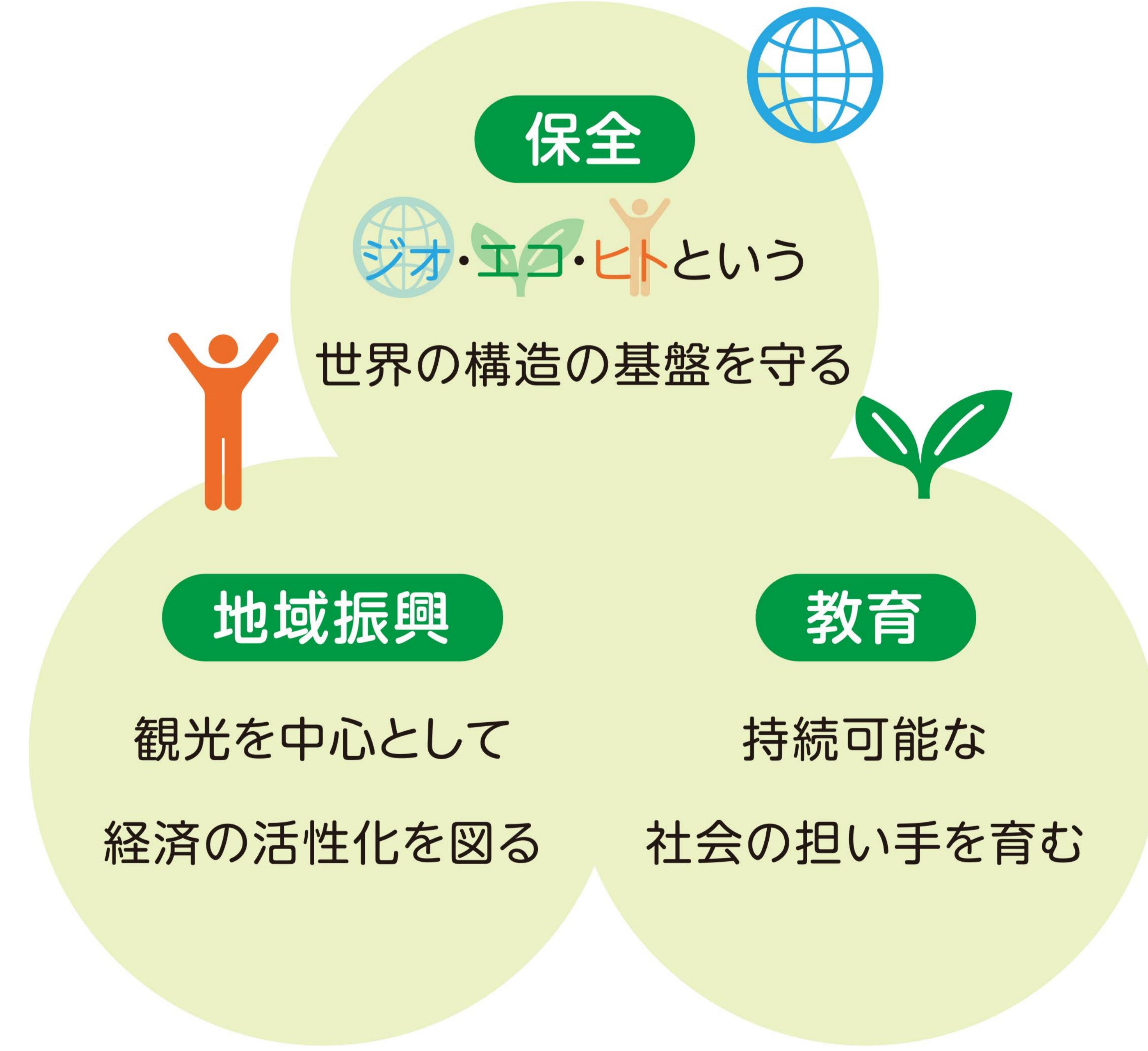
SDGsは、2030年の達成を目指した17のゴールと169のターゲットから構成されています。

経済・社会・環境それぞれの課題は不可分で、すべてがつながっています。

地域で実現したい将来像から考え、3つの側面のバランスを図り、協働で課題解決に取り組んでいくことが重要です。



## ジオパークとSDGsの関わり



ジオパーク活動では、経済・社会・環境の3つの側面に対応するように、

- ・観光を中心として経済の活性化を図る「地域振興」
- ・持続可能な社会の担い手を育む「教育」
- ・ジオ・エコ・ヒトという世界の構造の基盤を守る「保全」

が活動の柱となっています。

持続可能な未来を実現しようとするジオパーク活動とSDGsの親和性は高く、ジオパーク活動を正式プログラムとする国連専門機関のユネスコ(UNESCO、国際連合教育科学文化機関)もまた、SDGsの達成に向けて率先して取り組むことを表明しています。

私たちの社会がSDGsを通して、持続可能な未来にアプローチしていく上で、これまでにジオパーク活動を積み重ねてきた地域には大きな強みがあります。また一方で、SDGsの本質を理解し、活用することで、ジオパーク活動の質を高めていくことも可能です。持続可能な社会づくりを目指すジオパーク活動にとっても、SDGsは大きなビジョンであり、通過点でもあるのです。

さあ、それでは北海道のジオパークが具体的にSDGsとどのように関わるのか見てみましょう!